



## 事業所名 濱田重工株式会社大分支店

業 種 金属精錬業

事業内容 弊社は本社が北九州市にあり、鉄鋼・エンジニアリング・半導体事業を中心に展開しています。大分支店は新日鐵住金(株)大分製鐵所のパートナーとして、鉬石処理や高炉スラグ処理の操業・整備に携わっています。

従業員数 合計137人 (うち男性135人、女性2人)

所在地 大分市西ノ洲一番地

HPアドレス <http://hamada-hi.com/>



### 執行役員大分支店長 大塩 昭義

日本人男性の平均寿命は81歳ですが、健康寿命は71歳と言われています。今後、平均寿命が100歳になったとしても、健康寿命も100歳近くに伸びなければ生活が苦しくなるだけです。働くためには身体そして健康が資本です。年齢を重ねた時こそ、若い時からの毎日の積み重ねが結果となって現れると考えています。社員が在籍中もリタイア後も長く健康で過ごせるよう、今後も健康経営の在り方について試行錯誤していきます。

## 取組① 腰痛防止体操の取り込みと参加記録表記入による健康維持

これまで、毎朝の始業時にラジオ体操を実施していましたが、健康維持のため新たに腰痛防止体操を加えました。

また、実施状況を把握するため、「はつらつ健康運動始業体操参加記録表」を作成し、記録を残すように取り組みを開始しました。従来より参加率は高かったのですが、皆の体操への取り組み意識が変わり、短時間の中でも集中して体操を実施することで効果が上がり、皆の健康維持に繋がっていると実感しています。



全員でラジオ体操と腰痛防止体操

## 取組② 社員へのきめ細かな体調管理指導による規律ある健康な生活習慣の意識付け推進

弊社では健康診断受診率100%を維持しており、診断結果を「再検査」「要指導」に振り分け、保健師または産業医との個人面談にて指導して頂いています。

また、毎朝全員が作業前に血圧測定及び睡眠時間・朝食摂取・気分が悪くないか等の健康チェックを行い、上司が確認する体調管理指導を実施しています。

加えて、アルコールチェックも合わせて実施しており、全員が規律ある健康な生活習慣を意識し身に付けられるよう取り組みを行っています。



保健師との面談

## 取組③ 各種文体行事への積極的参加や声掛けによるコミュニケーションの活性化

1990年代に採用を抑えたため、30~40代の中間世代の社員が少なく、20代と50歳以上がそれぞれ約40%と2極化しているものの、現在は父親と息子のような関係ができ上がり、皆が上手く溶け合って良い繋がりができています。年間を通じた各種行事への若手の積極的な参加と、上司や年配者による普段からの若手へ声掛けがベースとなっており、コミュニケーションの活性化に繋がっています。

また、定着率の高さにも影響しています。



駅伝大会の集合写真

### 取組の成果・メリット

- ① ラジオ体操・腰痛防止体操の参加記録により実施率が把握できるようになった。
- ② 健康管理チェック表や保健師の健康指導等により個々人の健康意識が高まった。

- ③ コミュニケーションが活性化し社内の風通しが良くなった。
- ④ 全体の雰囲気良くなり好循環が生まれ、人材の確保・定着に繋がった。
- ⑤ 毎朝全員のアルコールチェックにより規律意識が高まった。